

2009年1月20日

新 聞 産 業 報 情 景

SaaS型に移行

会員制サイト構築サービス

ネットウエル

ネットウエルは、中小企業向けにSaaS型会員制サイトサービス「IAPメンバシップ」を開始した。

同社は、これまで同報メールやエンタリーフォームといった会員制サイト向けのASPサービスを提供していたが、インフラ整備や部分的にシステム構築を行う必要があった。このため、機能ごとに利用できるSaaS化を行った。

IAPメンバシップは、既存のWebサイトを変更することなく、会員制サイトに必要な同報メール配信、簡易コンテンツ管理、エンタリーフォーム、クチコミなどの機能を個別に追加できる。また、申し込みから会員制サイト開設までの期間が3週間程度で可能になるとしている。

今回のサービス開始にあたってデータの運用にプライバシーマークを取得しており、セキュリティ面の強化も行った。

現在、同社の主力事業はSI、大手企業向けSNSサイトの構築となっており、今後は中小企業

比率を高めていく。「複数店舗をランチ営業など中小企業で会員制サイトを経営に活かすことを考えている企業は多く、手軽に利用できるこ

とを提案していく」（富田秋実ネットシステム事業部長）としている。月額2万円の基本料金にオプションで希望する機能を追加していく課金方式となっている。